

## 週足



## 長期概況

2021/1/6の安値102.59円を起点とした上昇トレンドは、2022/10/21高値151.94円を頂点とした調整局面は、FOMC12月会合において上げ幅を50bpへ縮小(6月～11月会合では4会合連続で.75%の利上げ)、12/20の日銀金融政策決定会合で、長期金利変動幅の上限を0.5%に拡大(従来は0.25%)が決定されたことなどを材料として、127.22円まで下落しました。2/3に発表された米1月雇用統計で市場予想を上回る好結果となったことを受け、米労働市場の堅調さが確認されたとともに、2/24(金)に発表された1月米個人消費支出(PCEデフレーター)も予想を上回る結果となったことで、3/6高値137.90円まで上昇しました。その後、欧米金融機関の経営不安からリスク回避のドル売り円買いが優勢となり、129.64円まで下落する展開となっております。

### 【2023/3/20～3/24】

3月第4週のドル円は、131.65円から始まり、週末にかけて下げ幅を拡大し、129.64円まで下落しました。前週から続く欧米金融機関への破綻の連鎖不安がドル円の上値を抑えていましたが、UBSのクレディ・スイス買収による救済見通しが立ったことでリスク回避の後退から、3/22(水)133.00円まで上昇しました。その後、3/24(金)には、米司法省がロシア制裁に絡んでクレディ・スイスとUBSを調査との報道やドイツ銀行株価急落などを受け、金融システム不安からリスク回避の姿勢が再燃し、ドル売り円買いが優勢となり2月3日以来の安値となる129.64円まで下落する展開となりました。

このレポートは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資方針や投資時期等の最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行ってください。また、このレポートは信頼できるとされる各種データに基づき情報を提供しておりますが、正確性、妥当性等を保証するものではなく、この情報により発生したいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。なお、このレポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがあります。

## 日足



## 今週の戦略

日足ボリンジャーバンドは中心線が下向きとなっており、下落を示唆しています。また、ボリンジャーバンドの幅がエクспанションを形成し始めており、下落トレンドの発生を示唆しています。週足ボリンジャーバンドは、中心線が下向きですが、バンドの幅が収斂しておりもみ合いを示唆しています。

◆ 予想レンジ 129.64円～133.77円

注目レート		テクニカル
上値②	133.77	・ボリンジャーバンド週足 基準線近辺 ・2023/3/8高値137.90円から3/24安値129.64円の50.0%戻し(フィボナッチ:緑)
上値①	132.79	・2023/3/8高値137.90円から3/24安値129.64円の38.2%戻し(フィボナッチ:緑)
下値①	130.54	・3/20安値
下値②	129.64	・3/24安値 ・1/16安値127.22円から3/8高値137.90円の76.4%押し近辺(フィボナッチ:青)

このレポートは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資方針や投資時期等の最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行ってください。また、このレポートは信頼できるとされる各種データに基づき情報を提供しておりますが、正確性、妥当性等を保証するものではなく、この情報により発生したいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。なお、このレポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがあります。